

宮古市津軽石スワンコープ委員会・51 人の子どもたちが**ユニセフを学んだよ!**

7月25日(土)、いわて生協宮古市津軽石スワンこ〜び委員会(内館信子理事・君澤幸枝)の夏休み子ども企画として、ユニセフ講座が津軽石弘川コミュニティセンターで開催されました。

DVD「ユニセフと地球のともだち」をみたり、51人が4つのグループ(先進国・アフリカ・アジア・中南米)に分かれ、食糧分配ゲームをしました。食糧分配ゲームでは、「たりないところに輸出したらどうだ」「こなごなにしておけたよ」など真剣にゲームに取り組みました。最後はみんなでおなをよく1ケずつ分け合いました。子どもたちから「食べ物をなかく分け合っておくことは、大切なことだと思った」、「昔の戦争はとても大変だとわかった」、「これからも命を大切にしたい」と、ゲームを通じて感じたようです。また、「世界には、いろいろな子どもたちがいることがわかりました。みんなけんこうにくらせるようにしてほしいです」など感想が寄せられました。県協会から、藤原綾子事務局長、スタッフ遠山あゆ子、福土久美子が参加しました。



▲食糧分配ゲームは、どのチームも真剣です▲



▲きたない水をのんで、びょうきになってかわいそう! などみんなで感想を書きました▲